

## 【セミナーのご案内】

### AIが招く創薬イノベーション

奥野恭史 先生

京都大学大学院医学系研究科ビッグデータ医科学分野・教授


日時：平成31年3月8日(金) 18:00~19:00

場所：基礎研究棟1階カンファレンスルーム


近年、あらゆる分野において爆発的に増大し続けるビッグデータから知識発見や新たな価値を創造する科学技術として、ビッグデータ科学が注目されている。創薬・生命科学分野においても、ハイスループット技術やオミクス計測技術の著しい進展に伴いデータ爆発が起こり、ビッグデータ科学の研究開発が急務とされている。このように多種多様かつ膨大なデータに直面する最中、一方ではこれらビッグデータを解析する技術として人工知能(AI)が注目されるに至っている。言うまでもなく、人工知能分野そのものは新興の分野という訳でないが、Google社のDeep LearningやIBM社のワトソンの出現により、近年の人工知能技術のパフォーマンスと可能性にさまざまな分野が大きな期待を寄せている。

演者は、約10年前より人工知能・機械学習技術の創薬応用に着手してきており、活性化合物のスクリーニングや自動分子デザインの技術開発を行ってきた。また、2016年の11月に、ライフ分野を対象としたAI開発を産学、異業種連携で進めるため、ライフ・インテリジェンス・コンソーシアム(LINC)を立ち上げた。LINCは、京大・理研などのアカデミアの支援のもと、製薬・ヘルスケア系を中心としたライフサイエンス関連企業とIT関連企業など約100社・団体がタッグを組むことで、AI戦略による保健医療分野・関連産業の振興を目指すものである。

本講演では、演者が取り組むAIの創薬応用の具体的な研究事例を紹介するとともに、AIが産業界、特に製薬業界にもたらすインパクトについて議論したい。



\* 教員、大学院生等ご来聴をお待ちいたします。



連絡先：山口大学大学院医学系研究科  
システムバイオインフォマティクス講座  
山口大学大学院医学系研究科・医学部附属院  
AIシステム医学医療研究教育センター (AISMEC)  
浅井義之 (2229)  
<http://aismec.gsm.yamaguchi-u.ac.jp/event>